

科目名	キャリアデザイン5							年度	2026
英語科目名	Career Design 5							学期	後期
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 3年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	大山敏弘	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダクトデザイナー		
【科目の目的】 「キャリアデザイン5」では、進路が未決定の学生を対象に、就職活動を継続・再構築する力を養うことを目的とする。応募書類・ポートフォリオ・面接演習など実務的な演習を軸に、自身の強みと課題を再点検し、短期間で成果につなげる実践的な学習を行う。授業を通して自律的に行動計画を立て、企業アプローチへ直結する力を育成する。									
【科目の概要】 本科目は、進路未決定の3年次後期学生を対象とした選択授業である。履歴書・エントリーシート・ポートフォリオの完成度を高める実践課題を通じて、企業研究と志望動機の具体化を行う。さらに模擬面接やグループ演習を取り入れ、応募から面接対応までの一連の流れを体験的に学ぶ。短期間で実際の活動に結びつけることを意識した構成である。									
【到達目標】 本科目における到達目標は以下の通りである。A：自身の強みや課題を再確認し、応募先に応じて適切に表現できることを目指す。B：履歴書やエントリーシートを企業提出に耐える水準で完成させることを求める。C：ポートフォリオを作品力と自己PRの両面から効果的に仕上げる。D：模擬面接を通じて自己表現力と対応力を高める。E：授業全体の成果を基に今後の就職活動計画を自律的に立案できるようになる。									
【授業の注意点】 クラス＝デザイン制作室という認識をもってより良いデザイン制作に必要な学生間・教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。制作にあたってはデザイナーとして各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	強み課題を的確に言語化し柔軟に応用できる	強み課題を整理し状況に応じて活用できる	強み課題を基本的に把握できている	強み課題を一部のみ把握できている	強み課題をほとんど把握できていない				
到達目標 B	企業提出に十分耐え高い完成度を示す	提出可能水準に達し安定している	基本形式を満たし提出可能である	一部不備があり要改善である	形式不備が多く提出不可である				
到達目標 C	作品と自己PRが高度に統合され魅力的である	概ね整っており効果的に伝わる	必要要素が揃い一定水準にある	構成が不十分で伝わりにくい	体裁不備が多く完成していない				
到達目標 D	自信と柔軟性を持ち説得力を発揮できる	基本的対応に加え個性も発揮できる	基本的対応が概ねできている	応答に不安定さが残り改善が必要である	基本対応も難しく不十分である				
到達目標 E	実現可能で具体的な行動計画を示せる	計画が整理され行動に移せる	計画を大まかに立てられる	計画が抽象的で不明確である	計画を立てられず方向性が曖昧である				
【教科書】 参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 作文・課題50% 課題を総合的に評価する。 ワークシート20% 授業内容の理解度を確認するために実施する。 レポート20% 授業内容の理解度を確認するために実施する。 平常点10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		キャリアデザイン5			年度	2026
英語表記		Career Design 5			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンスと現状共有	進路未決定の状況を把握し授業方針を理解する	1 授業概要説明	授業の進め方を理解し自分の課題を把握できる	2	
			2 個別状況のヒアリング			
2	自己分析の再構築	自身の強みと課題を整理し直す	1 自己分析ワーク	強みと課題を言語化し直すことができる	2	
			2 過去応募資料の反省			
3	企業研究の重点化	志望可能性のある業界を再確認する	1 業界マップ作成	志望業界を絞り込み研究できる	2	
			2 企業情報収集演習			
4	応募戦略の立案	短期間での行動計画を作成する	1 応募スケジュール作成	応募計画を立案できる	2	
			2 ターゲット設定			
5	履歴書作成演習	履歴書の完成度を高める	1 履歴書添削	企業提出水準の履歴書を仕上げられる	2	
			2 修正版作成			
6	エントリーシート作成演習	ESを効果的に仕上げる	1 自己PR作成	魅力的な自己PRを盛り込んだESを完成できる	2	
			2 添削演習			
7	ポートフォリオ構成見直し	自己PRと作品の整合性を高める	1 作品選定	強みを反映したポートフォリオに整理できる	2	
			2 構成再検討			
8	ポートフォリオ仕上げ	提出レベルに引き上げる	1 デザイン修正	企業提出可能なポートフォリオを完成できる	2	
			2 プレゼン要素追加			
9	志望動機の再構築	志望理由を明確に表現する	1 企業別志望動機作成	企業に即した志望動機を表現できる	2	
			2 相互レビュー			
10	模擬面接①（個人）	基本的な受け答えを確認する	1 個別面接練習	面接の基本対応を行える	2	
			2 講評			
11	模擬面接②（集団）	集団面接の対応力を養う	1 グループ面接演習	集団面接に対応できる	2	
			2 相互フィードバック			
12	プレゼン力強化	自己PRを効果的に伝える力を育成する	1 プレゼン練習	自己PRを自信を持って伝えられる	2	
			2 改善ポイントの共有			
13	応募資料最終仕上げ	全提出資料を完成させる	1 履歴書・ES最終化	応募資料を提出できる形に整えられる	2	
			2 ポートフォリオ仕上げ			
14	応募・面接計画の確認	個別に今後の行動を整理する	1 計画確認面談	今後の具体的行動計画を示せる	2	
			2 最終調整			
15	まとめと今後の展望	授業成果を振り返り自律的行動につなげる	1 成果発表	授業での学びを今後の活動に活かせる	2	
			2 振り返りワーク			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等